

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 5日

静岡県知事 殿

提出者

住 所 静岡県下田市吉佐美1018-1

会社名 丸三工業株式会社

代表者 代表取締役社長 田中 豊

電話番号 0558-23-0303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

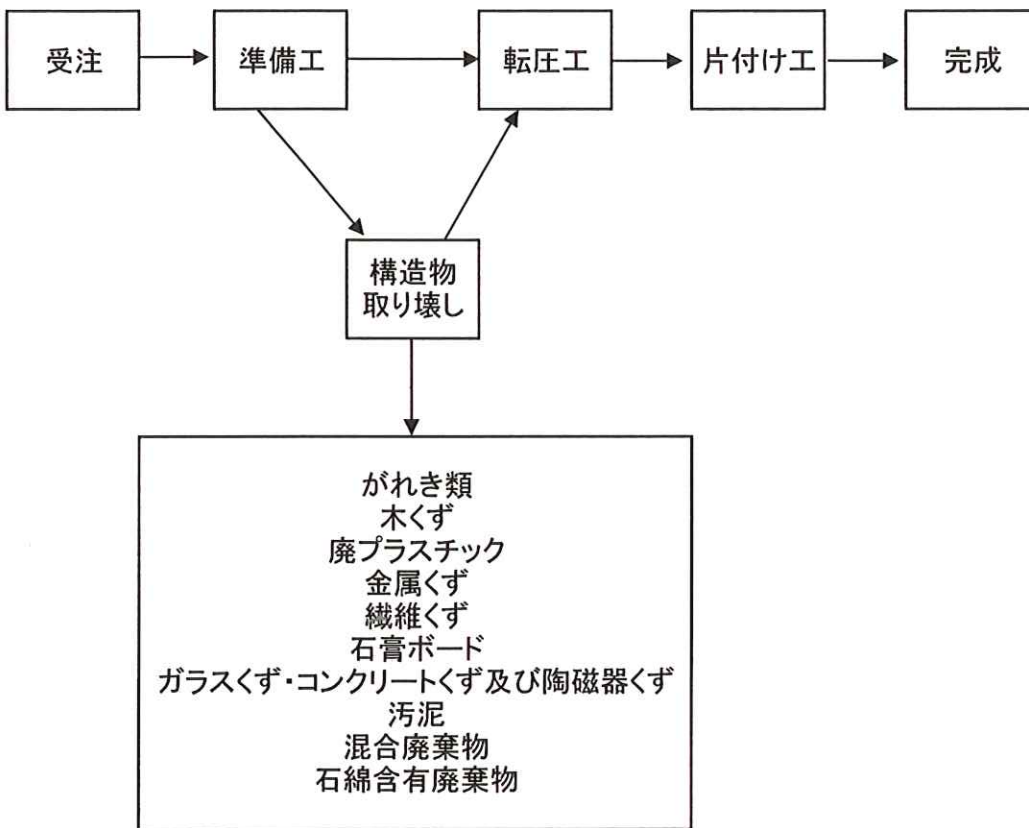
事業場の名称	丸三工業株式会社
事業場の所在地	静岡県下田市吉佐美1018-1
計画期間	令和6年度4月1日～令和7年度3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

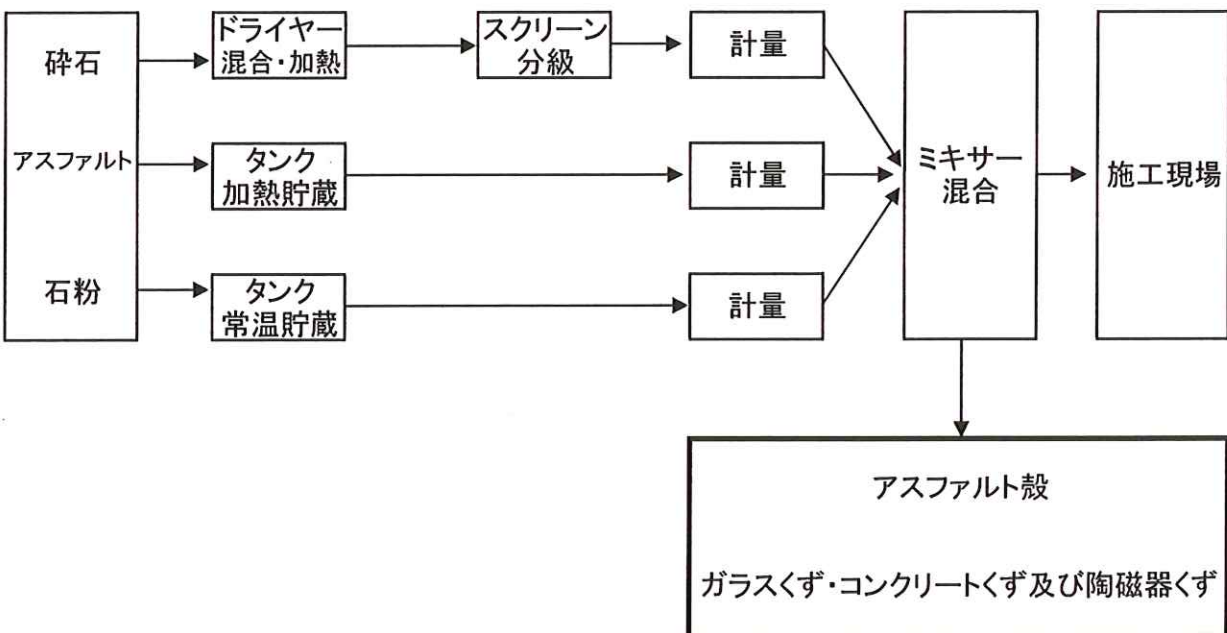
① 事業の種類	総合工事業・舗装工事業〔0631〕
② 事業の規模	完成工事高 807,931千円
③ 従業員数	39人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添フロー図



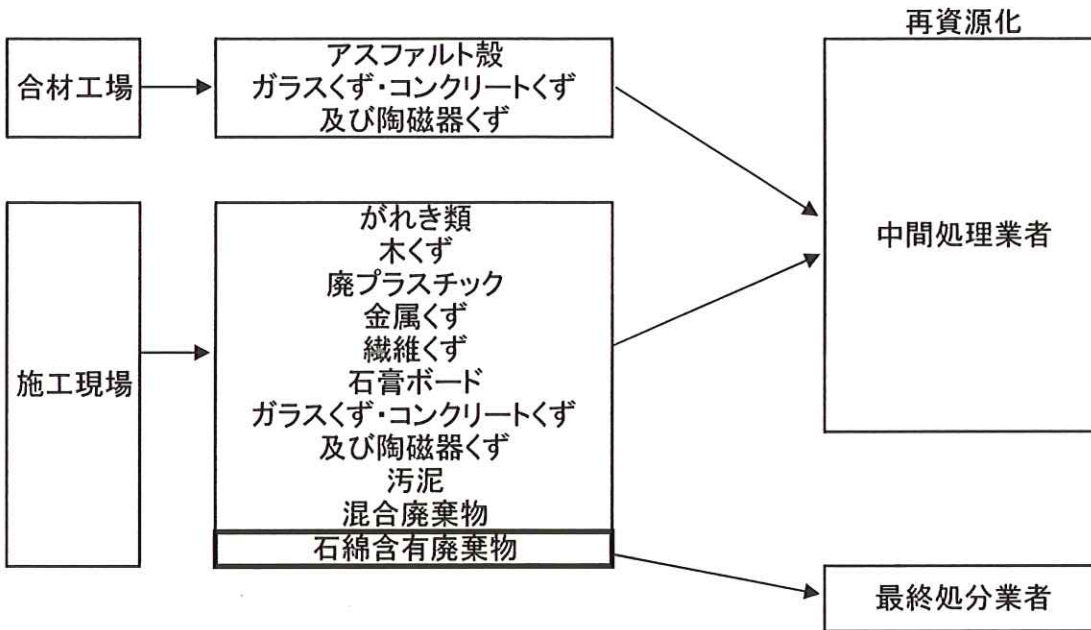
施工現場フロー図



合材工場フロー図

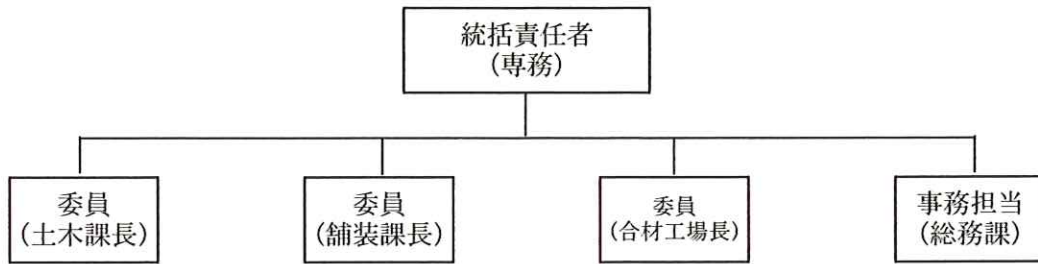


廃棄物処理フロー図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

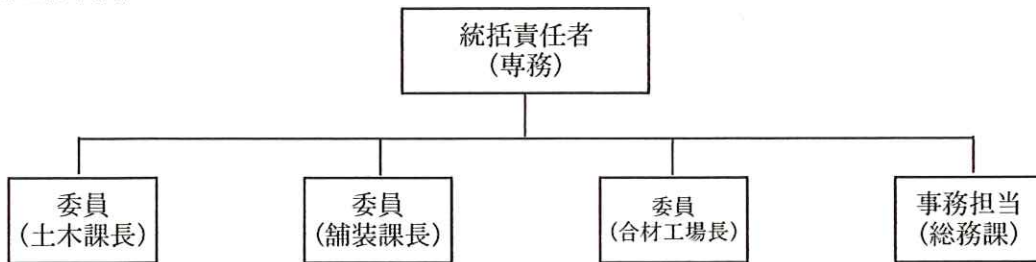
①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	排出量	5347.63 t	51.125 t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	排出量	4000 t	150 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量が少ない新工法の開発、情報収集に務める。 ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

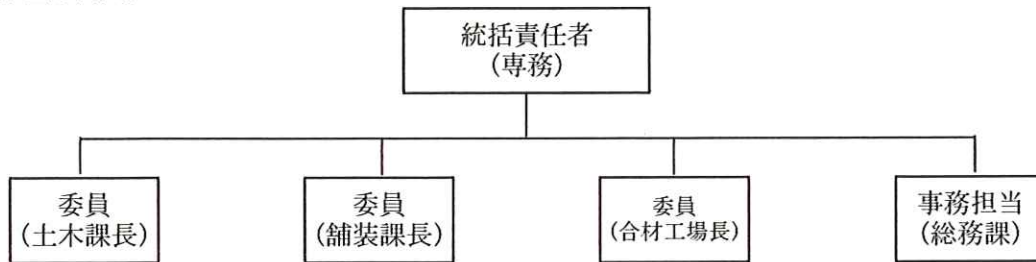
①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	排出量	7.7 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	排出量	2 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物発生量が少ない新工法の開発、情報収集に務める。 ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

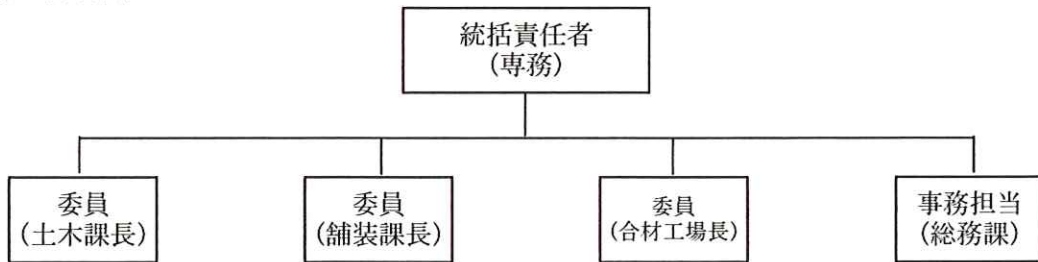
①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	排出量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	排出量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物発生量が少ない新工法の開発、情報収集に務める。 ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

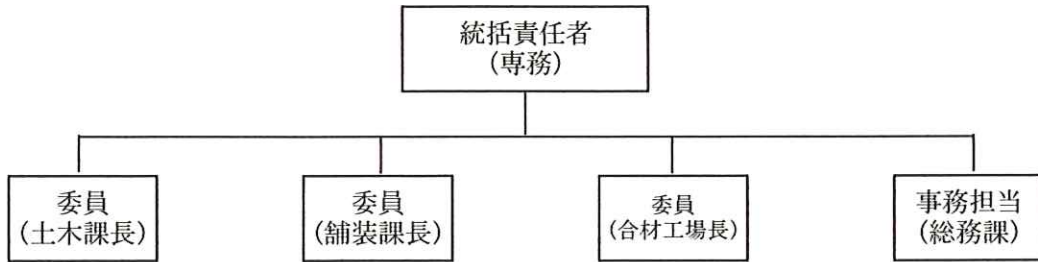
①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排出量	13.104 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排出量	10 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物発生量が少ない新工法の開発、情報収集に務める。 ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	排出量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	排出量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物発生量が少ない新工法の開発、情報収集に務める。 ・ 構造物取り壊し作業時に土砂等の混入を少なくする。 ・ 合材工場との連絡を密にし、集荷数量を把握し、余剰材料を減らす。 ・ プラントの断続運転をできるだけ避けるよう、計画を立てる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ できる限り、コンクリート殻とアスファルト殻を分別するように心掛ける。 ・ 産業廃棄物以外の土砂等の混入をできるだけ避ける。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら処理を行う計画はない。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら処理を行う計画はない。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら処理を行う計画はない。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら処理を行う計画はない。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら処理を行う計画はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋設処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋設処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	全処理委託量	5347.63 t	51.125 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5347.63 t	51.125 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまで、自社で埋設処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き埋設処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	7.7 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7.7 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋設処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋設処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	全処理委託量	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・ するとともに行政の環境施策に協力する。 ・ 1年1回以上処分施設の実地確認をする。 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋設処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋設処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	全処理委託量	13.104 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	13.104 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 するとともに行政の環境施策に協力する。 1年1回以上処分施設の実地確認をする。 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋設処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋設処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	全処理委託量	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	木くず
	全処理委託量	4000 t	150 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4000 t	150 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	2 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず
	全処理委託量	1 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			
※事務処理欄			

		【目標】			
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物		石綿含有廃棄物
②計画	全処理委託量	10	t	1	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t
	再生利用業者への処理委託量	10	t	1	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。				
※事務処理欄					

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	汚泥
	全処理委託量	1 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理するため、関連する法令、その他の規則を遵守 ・するとともに行政の環境施策に協力する。 ・1年1回以上処分施設の実地確認をする。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。